

2020. 5. 10 第二主日母の日礼拝

エペソ 3:17-19 「母の愛とキリストの愛」

## 聖書

17 信仰によって、あなたがたの心のうちにキリストを住まわせてくださいますように。そして、愛に根ざし、愛に基礎を置いているあなたがたが、  
18 すべての聖徒たちとともに、その広さ、長さ、高さ、深さがどれほどであるかを理解する力を持つようになり、  
19 人知をはるかに超えたキリストの愛を知ることができますように。そのようにして、神の満ちあふれる豊かさにまで、あなたがたが満たされますように。

## はじめに

今日は母の日。世にあるお母さん方に心から感謝を捧げます。母の日は今から 113 年前、1907 年にアメリカの教会でアンナ・ジャービスという女性が亡き母の記念会（追悼式）を行ったときに白いカーネーションを配ったことから始まったと言われています。感謝の表し方は色々ありますので、それぞれの方法で、この日母に感謝を表しましょう。

それにしても、母という存在は偉大です。一人の命をこの世に送り出し、子どもを育てるといふ大事業の大半を担っているのですから。その割には顧みられないのも確かですね。子どもとして母にもっと感謝しなければと思います。感謝の気持ちを込めて、母に「生んでくれてありがとう」「育ててくれてありがとう」と言い、最後に「神さま、私に母を与えてくれてありがとう」と 3 つの感謝を届けたいと思います。今日の礼拝では、母の愛の大きさに心を向け、母に愛を与えてくださったキリストの愛に目を向けます。

## 1. エジソンと母

ある少年とお母さんの会話です。

「お母さん、ガチョウは、なぜタマゴの上にするの？」

「あたためるためよ」

「なぜ、あたためるの？」

「タマゴをかえすためよ」

「タマゴをかえすって、なあに？」

「ガチョウの子どもを、カラの中から出してやることよ。ガチョウの子は、  
そうして生まれるのよ」

「それじゃ、タマゴをあたためたら、ガチョウの子どもが生まれてくる？」

すぐさまこの少年は隣の小屋に行き、巣をつくりガチョウやニワトリの卵を入れてその上にうずくまったのでした。この少年とは発明王エジソンです。学校では頭が腐っているのではないかと言われたエジソンを、母ナンシーは引き取り自らの手で教育を施しました。人一倍好奇心旺盛なエジソンの疑問を解決できるように本を与え、地下に実験室まで作ったそうです。無茶をして危険に陥ったときは厳しく叱り、母は毎日、息子が一日無事であったことを神に祈り、感謝をささげたのでした。あるときエジソンは母が祈る姿を偶然見ます。エジソンはその姿を忘れることはなかったそうです。22歳のときにエジソンは発明家として独立します。母の喜びも束の間、翌年母は病に倒れ61歳で生涯を閉じました。エジソンは発明が行き詰まったときは、頭の中で母をイメージしてことばを交わしたと言います。後に「私を作りあげてくれたのは母だった。母は私を理解し、私の性質が向いている方へ進ませてくれた」「苦しいときは、私のすべてを受け止め、支えてくれた母の笑顔を思い出し、その無言の励ましに勇気づけられていた」と書き残しています。

母の愛はいつの時代も我が子に向いているものです。

## 2. 無償で届ける母の愛

母の愛が我が子に、また家族に向けられていることに感謝を表し、日ごろの労苦にねぎらいのことばを届けるのが「母の日」の意義ではないでしょうか。しかし、母の愛は目に見えないものなので評価されにくいですね。そこ

で「見える化」するために、家事を賃金に換算する試みがあります。2016年に「逃げるは恥だが役に立つ」というテレビドラマがありました。津崎平匡と森山みくりの二人が契約結婚という形で生活を始めるドラマで、津崎が森山に家事代行で提示した金額が月収19万4000円でした。1日7時間労働で換算した金額です。この金額がはじき出された方法が機会費用法（Opportunity Cost method：OC法）です。この方法は家事に当てた時間を外で働いた場合に換算したものです。そうすると週休1日で約26万5000円ほどだそうです。年収にして320万円ほど。他にも家事を専門職の賃金に当てはめる方法があり、料理は調理師、掃除はビル清掃員、育児は保育士のように。この計算方法ですと子育て中のお母さんは月収40万7000円ほど。年収にして490万円ほどです。実にこれだけの対価を無償で提供しているのが母です。

こうした家事を賃金に換算することの意味はどこにあるのでしょうか。単に家事労働に対する感謝を示す根拠として用いるためでしょうか。そうではありません。家事を賃金に直すことに意味があるのではなく、見えないものを見る化することに意味があるのです。家事ハラスメントということばがあります。目に見えにくくお金に換算できない労働は、いつの間にか「存在しないもの」とみなされてしまい、そのため家事労働の苦勞や意義は無視され、家事・育児しかしていない人は「何もしていない人」とみなされるようになってしまいます。「何もしていない」のではなく、「こんなにもしてくれている」ことを見る化するために、賃金に換算する方法が時に役に立つのです。私たちは目に見えない母の愛と労苦に対し、もっと感謝をささげるべきなのです。

### 3. 母の愛は偉大

そのような多くの目に見えないものを無償で私たちに届けてくれる母の存在は偉大です。なぜ無償で行うことができるのでしょうか。そこには我が子に、また家族に対する愛があるからです。エペソ3:18のことばを借りるなら、

母の愛はとても高く、深く、広く、長いのです。

- ①母の愛は、子供や家族のために犠牲をいとわない、見返りを期待しない（打算のない）無私（むし）の愛です。とても高い（高潔）な愛です。
- ②母の愛は、子供や家族と共に悩み苦しみ、どんなであっても見捨てることのできない愛です。とても深い愛です。
- ③母の愛は、子供や家族が何人いても一人一人にしっかり向いている愛です。とても広い愛です。
- ④母の愛は、たとえ子供が独り立ちし親離れしても、我が子は幾つになっても我が子です。とても長い愛です。

母として愛を注ぐ立場の方も、子として愛を受ける立場の方も、母の愛はこれほどまでに偉大なのだということを忘れてはいけません。私たちはこうした大きな母の愛の中に育まれてきたのです。しかし、いつの間にか愛に守られていることが当たり前になって、感謝のことばも忘れられてしまいます。それどころか、母も弱さを抱えた一人の人間ですから、限界もありますし至らない面もたくさんあります。そうした面を批判され、毎日の労苦が意味のないもののように退けられてしまったら、身が持たなくなってしまうのは当然です。母を気落ちさせるのも励ますのも、周りの者の声一つなのかもしれません。母の日に日頃の感謝の表し方を振り返ってみましょう。

#### 4. 更に偉大なキリストの愛

偉大な母の愛も完全無欠ではありません。人間の愛には限界があります。欠けもあります。人間の愛の限界や欠けは、人間の罪から来ている問題です。しかし、神さまは最初から人間の愛に限界を設けられたものではありません。創世記に神さまは私たち人間を創造されたとき、「われわれのかたち」に造ろうと言われました（創世記 3: 26）。われわれという複数形の中に、父なる神、子なる神（キリスト）、聖霊なる神の完全な愛による一致が暗示されていると考えられます。その完全な愛による一致の中で、アダムとエバという最初の

人間が創造されたのです。ゆえに、最初の人間には完全な神さまの愛が与えられていたのです。それが人間の罪のゆえに不完全な愛に変質してしまい限界を持つことになったのです。罪によって不完全で限界を持つ愛となってしまいましたが、恵みによって人間の中には神さまの愛が残されており、それが母をして無償で愛を注ぎ続けることの理由となっているのです。もし人間の中から愛が完全に失われてしまったなら、人間は生きていくことはできないでしょう。神さまの愛が母を通してこの世に示されたことにより、人は家族という関係の中で生きていくことができるのです。

神さまの愛はイエスさまによって明らかにされました。イエスさまの愛とは高さ、深さ、広さ、長さにおいて母の愛に勝るものです。「愛に根ざし、愛に基礎を置いているあなたがたが、すべての聖徒たちとともに、その広さ、長さ、高さ、深さがどれほどであるかを理解する力を持つようになり、人知をはるかに超えたキリストの愛を知ることができますように。」と祈った祈りの中にイエスさまの愛の高さ、深さ、広さ、長さを見ます。

イエスさまは罪人のためにいのちを捨てる高さを持ち（キリストは私たちのために、ご自分のいのちを捨ててくださいました。それによって私たちに愛が分かったのです。Ⅰヨハネ 3:16）、どんなことがあってもあなたを決して見捨てないという深さを持ち（主ご自身があなたに先立って進まれる。主があなたとともにおられる。主はあなたを見放さず、あなたを見捨てない。恐れてはならない。おののいてはならない。申命記 31:8）、どんな人でもすべての人を愛する広さを持ち（すべて疲れた人、重荷を負っている人はわたしのもとに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。マタイ 11:28）、世の終わりまで共にいてくださる長さを持っている愛です（見よ。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。マタイ 28:20）。

それは、人知を遥かに超えた愛です（エペソ 3:19）。イエスさまの愛は私たちを「神の満ちあふれる豊かさにまで」（19節）満たす愛です。その愛が

母という立場で子供や家族に仕える方々に豊かに注がれるように祈りましょう。母にイエスさまの愛が注がれ、母自身が愛に包まれる必要があるのです。そのために祈らせていただくわけではありませんか。

### まとめ

母の日頃の労苦に感謝を表し、主が豊かに報いてくださいますようにお祈りします。子として母の愛に心から感謝をささげます。私たちに母を与えてくださった神さま、そして母を通してイエスさまの愛を注いでくださった神さまに感謝をささげます。